

令和5年6月16日
茨城県農林水産部林政課
全国育樹祭推進室

【報道関係者各位】

令和5年6月15日(木)

4企業合同の協賛物品贈呈式を開催しました
(常陽銀行寄贈サービス付私募債活用)

このことについて、令和5年11月11日（土）・12日（日）に開催する第46回全国育樹祭に対し、以下の4企業から常陽銀行の寄贈サービス付私募債を活用した協賛の申し出があり、下記のとおり協賛物品の贈呈式を開催しましたので、ご案内いたします。

記

1 日 時

令和5年6月15日（木）14時00分～14時30分

2 会 場

茨城県庁 17階 農林水産部会議室1

3 出席者

協賛者

- | | |
|-----------------|---------------------------|
| ・ ガラスリソーシング株式会社 | 代表取締役副社長 伊藤 孝展 (いとう たかのぶ) |
| ・ 牛久産機有限会社 | 代表取締役 張替 正一 (はりがえ まさかず) |
| ・ 株式会社Myアセット | 取締役 清水 俊介 (しみず しゅんすけ) |
| ・ 株式会社吉田組 | 代表取締役 吉田 長邦 (よしだ ながくに) |
- 寄贈サービスの提供者
- | | |
|------------|--------------------------------|
| ・ 株式会社常陽銀行 | 高萩支店長 生田目 雅之 (なまため まさゆき) |
| | 牛久支店長 磯前 賢次 (いそまえ けんじ) |
| | 銚子支店長 佐藤 彰洋 (さとう あきひろ) |
| | 松戸支店 支店長代理 風間 孝一郎 (かざま こういちろう) |

第46回全国育樹祭茨城県実行委員会

・ 事務局長

農林水産部長 上野 昌文

4 内 容

第46回全国育樹祭に対する協賛物品の贈呈

- 開会
- 協賛者あいさつ
 - 株式会社常陽銀行 高萩支店長 生田目 雅之
 - ガラスリソーシング株式会社 代表取締役副社長 伊藤 孝展
 - 牛久産機有限会社 代表取締役 張替 正一
 - 株式会社Myアセット 取締役 清水 俊介
 - 株式会社吉田組 代表取締役 吉田 長邦
- 協賛物品（目録）贈呈
- 協賛者へ感謝状贈呈
- 農林水産部長あいさつ
- 記念撮影
- 閉会

5 寄贈サービス付私募債「社会貢献応援債」の概要

常陽銀行が私募債発行企業から受け取る発行金額の一部（0.2%相当）を学校や地方公共団体等に寄附・寄贈するサービスが付いた私募債

6 出席者あいさつ要旨

(1) 株式会社常陽銀行 生田目高萩支店長

弊行では取引企業が発行する私募債から頂戴する手数料の一部を社会貢献事業等に贈呈する寄贈サービス付私募債について、2016年から取り組んでおり、これまでに約1千件、金額にして約1億7千万円の寄贈を行ってきた。

今回は、第46回全国育樹祭の成功を地域の皆様とともに応援したいという思いでお声掛けさせていただいたところ、本日お集まりいただいた企業様にご賛同いただいた。今回の寄贈が第46回全国育樹祭の認知度向上につながり、企業の賛助活動の呼び水効果になれば非常に嬉しい。

今後とも地域金融機関として、持続可能な地域社会の実現に向けて、少しでも多くの取組みを行っていききたい。

(2) ガラスリソーシング株式会社 伊藤代表取締役副社長

弊社は、名前のおりガラス瓶のリサイクルから始まり、主にガラス瓶を破碎することにより砂の代わりとなる製品を製造している。

砂を取るには木を切ることになるが、砂の代わりに弊社の製品を使っていたらとCO2を30%削減できる。木の伐採に代わるCO2削減ということにいち早く取り組んできた企業である。中でも、茨城県には高速道路においての多くの製品を使っている。一番の実績となっている。

そのほか、自動販売機横のリサイクルボックスのリサイクルを日本最大規模で行うなど、CO2の削減を掲げている。これからも、SDGsとともにCO2削減を掲げながら事業に取り組んでいきたい。

(3) 牛久産機有限会社 張替代表取締役

弊社は建設機械のレンタル業を営んでいるが、地球温暖化防止のため、より一層排ガス対策の進んだ機械を取り入れ、建設業や林業の現場に多く出荷している。

以前は、空気と水は自然にある当たり前のものであったが、これからの時代は、水も空気も私達の世代が守っていかなければ継承できないものだと感じており、会社として、木や水を大切にすることを事業に取り組んでいくことが、自分達にできることだと考えている。

今後も全国育樹祭、森林・林業・環境機械展示実演会に数多く参加させていただきたいと考えているので、よろしくお願ひしたい。

(4) 株式会社Myアセット 清水取締役

弊社は不動産、建築をメインの事業としているが、仕入れの高さや建築のコストの高さから、業界としては非常に厳しい状況。そのような中ではあるが、地球温暖化やカーボンニュートラルが課題になり、高層建築物を木造で作るという研究が進むことにより、不動産業・建設業と木材は密接に関わっていくものと感じている。

そのような折、木を植えて、育て、伐採して、利用するというシステムの構築、未来につながる新しい林業の姿を発信することをテーマにした育樹祭について常陽銀行から紹介いただき、協賛させていただくこととした。

(5) 株式会社吉田組 吉田代表取締役

弊社は日立市の十王町で建設業を行うほか、銅スラグを二次利用したサンドブラストの製造販売を行っている。

この度、未来につながる新しい林業の姿を全国に発信するという考えに共感し、常陽銀行の協力のもと、協賛させていただいた。

弊社は、公共土木工事を主な事業としており、茨城県とは県建設業協会を通して防災協定等を結ばせていただいている。我々建設業でも、近年の自然災害の大変さは肌で感じているところ。一人の親としても、地球温暖化の防止というのは、子供たちの未来のためにも必要不可欠だと感じている。

11月の開催に向けて準備は大変だと思うが、この協賛が大会成功の一助になることを願っている。

- (6) 第46回全国育樹祭茨城県実行委員会事務局長 上野農林水産部長
 11月11日・12日に開催する第46回全国育樹祭まで残すところ5カ月となり、県では全力で準備を進めているところ。
 こうした中、常陽銀行の寄贈サービス付私募債を活用して多くの企業から協賛をいただき、大変ありがたく感じている。
 今後とも、成功に向けて全力で頑張っていくので、引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひしたい。

8 開催写真



▲記念撮影：ガラスリソーシング(株)
 (左から佐藤銚子支店長、
 伊藤代表取締役副社長、上野農林水産部長)



▲記念撮影：牛久産機有
 (左から磯前牛久支店長、
 張替代表取締役、上野農林水産部長)



▲記念撮影：(株)Myアセット
 (左から風間松戸支店長代理、
 清水取締役、上野農林水産部長)



▲記念撮影：(株)吉田組
 (左から生田目高萩支店長、
 吉田代表取締役、上野農林水産部長)



◀記念撮影：4企業
 (左から清水取締役、伊藤代表取締役副社長、
 張替代表取締役、吉田代表取締役、上野農林水産部長)

【本件に関するお問合せ先】

茨城県農林水産部 林政課 全国育樹祭推進室 担当：鳥羽・川上
 電話：029-301-4018 FAX：029-301-4039 MAIL：ikujusai@pref.ibaraki.lg.jp